

OURA

vol.3

だより

現在大浦で取り組んでいる「大浦地域まちづくり公共施設ワークショップ」の様子をお伝えする広報誌です！

協力：特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所
発行：舞鶴市財務部資産マネジメント推進課
企画・編集：福知山公立大学地域経営学部杉岡ゼミ

【第3回】

会場：大浦会館
日時：2025年7月13日
参加者：37人
(うちWS参加者32人)

01|趣旨説明

はじめにグループごとに「この夏にしたいこと」について語り合った後、前回の振り返りと今回のゴールを見据えた趣旨説明を受け、ワークショップがスタートしました。

【第3回ワークショップのゴール】

【ゴール①】着目したいニーズを選び、“これからの活かし方”を具体的に考える

【ゴール②】「共感できる考え」や「自分たちとは違う発想」に触れ、視点を広げる

02|ワークショップ

1 着目したいニーズを選ぶ

これまでのワークショップで出た「多世代での情報交換・交流」「地域資産の維持・活用」「若者の場づくり」「歴史、野外イベント」などのニーズの中から関心の高いニーズをグループごとに選びました。



2 “どうやって”選んだニーズを満たせるかを考える

5W1Hを意識しながら、実現に向けて必要だと思うことを話し合いました。

3 ワールドカフェ形式で発表&ブラッシュアップ

ワールドカフェ形式（カフェのようなリラックスした雰囲気の中で少人数で話し合い、途中でメンバーを入れ替えながらアイデアや意見を広げていく対話のスタイル）で各グループの発表を聞き、質疑応答や意見交換を行いました。その後、自分たちのグループに戻り再検討できる点や取り入れられる点などを話し合い、ブラッシュアップをしました。

完成した模造紙の詳細はこちらの二次元コードからご確認ください。



【1班が作成した模造紙】



03|講評

最後にアドバイザーから講評がありました。

・杉岡先生（福知山公立大学准教授）

- ①公共施設をどう活かせるか先進事例を見てみるのもよい。
- ②アイディアは画期的なものでもなくとも、組み合わせで生まれることもある。
- ③「ほっとけない」「もったいない」の中に地域づくりのヒントがある。」



【次回お知らせ】「地域と公共施設の未来を描く」

日時：2025年8月3日（日）10:00～12:00 会場：大浦会館

ワークショップの実施内容については、舞鶴市のホームページに掲載しています。

詳しくは二次元コードよりご確認ください。また、参加者の募集も随時行っています。【お問い合わせ 資産マネジメント推進課 0773-66-1045】

